



●議員は原則2期・最長3期で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

# つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク  
Tel&Fax:029-859-0264  
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F  
tsukubahotnet@ybb.ne.jp  
https://tsukuba-net.jp



2020年4月7日 vol.62

## 東海第二原発の再稼働の賛否を問う 県民投票 舞臺は県議会へ!!

2020年1月6日、「いば

らき原発県民投票の会」による、東海第二原発再稼働の賛否を問う県民投票条例の制定を求める署名活動が始まりました。

つことができました。

東海第二原発の再稼働は県民すべての暮らしに大きな影響があります。再稼働を決定するのは県知事や県議。しかし、その選挙では、ほとんどの候補者が再稼働問題に触れていません。この重要な決定にどうすれば自分たちの意思を表明できるのか。有力な手段として「県民投票」(直接請求)実施への機運が高まりました。

つくば・市民ネットワークは「人任せにしない」県民投票の趣旨に賛同し、会とともに活動してきました。

### 署名活動は 対話のチャンス

1月下旬からは地域を手分けして一軒一軒訪ねて署名を集め始めました。インターフォン越しに「大丈夫です」とやんわり断られることもありましたが、顔を合わせて、原発について話す機会を多く持



絶対反対だよ。あんな危険なもの再稼働なんてとんでもない

やっぱり人々の暮らしが大事。事故を恐れながらの再稼働は納得できない

エネルギーの心配はあるけれど、福島の状態を考えると原発は動かしてはならないと思う

大丈夫です

私は原発は必要だと思う。反対する人たちは原発に代わる有利なエネルギーのアイデアを持っているのか。産業に必要な大きな電力を賄うだけの発電能力が必要だということを知っているのか。

会話ではあまり話題に上らなくなり、何となく話にくい状況もあります。今回の署名訪問は、様々な考えの方と話す対話の機会となりました。対話こそ、私たちの社会を作る民主主義の基礎であり、市民ネットが目指しているものです。

### 県議会議員へ 声を届けよう

直接請求に必要な署名数は全県で有権者の2%の約5万筆。現在、8万9000筆以上が集まっています。

つくば市では1万1241筆(有権者の約6%)が集まり、3月16日につくば市選挙管理委員会へ提出しました。

今後、各市町村の選挙管理委員会での審査を経て、知事へ県民投票条例制定を請求します。その後、知事は6月の県議会に条例案を提出し、可決すれば県民投票が実現します。

住民投票の実現に向けて県議会議員へ私たちの声を届けましょう。

### つくば選挙区の茨城県議会議員

- 鈴木 将 県議 ☎029-869-0452
- 田村 けい子 県議 ☎029-866-2907
- 塚本 一也 県議 ☎029-864-3325
- 星田 弘司 県議 ☎029-837-1283
- 山中 たい子 県議 ☎029-863-0045 (50音順)

### 議員と話そう!会

定例会市議会の報告を兼ね、代理人(市議)の皆川、小森谷、北口、宇野を交え、様々な情報と意見交換を行います。

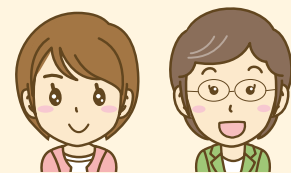
※コロナウイルスの影響で中止する場合があります

つくば駅周辺はどうなるの?

つくたく もっと利用しやすくない?

学区って、どうやって決まるの?

5月24日(日) 14:00~16:00  
つくば・市民ネットワーク事務所



### 新型コロナウイルス・医療崩壊を防ぐには?

新型コロナウイルス感染拡大を止めようと緊急事態宣言が出されました。このウイルスの特徴は、潜伏期間が2週間とも言われ、無症状の人からも感染が起きる、また8割は軽症だが、重症化する場合は発症から数日後に呼吸困難になり人工呼吸器が必要になる、と言われてい

ます。特に心配されるのは、重症患者が急増して感染症に対応できる病室が不足し、医療現場での感染が起きて病院が機能なくなる医療崩壊です。つくば市でも公共施設を使い軽症者用の受け入れ施設の準備が進められていますが、「3つの密」を避けるのはもちろん、私たちが

できる限り家にいることが、感染拡大防止の重要なポイントです。

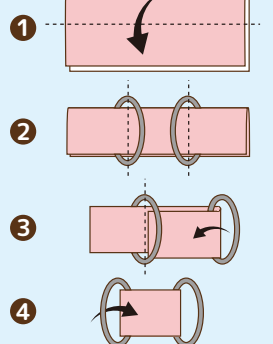
また、消毒薬がなくても、30秒間の手洗いやうがいをしっかりおこない、予防に努めましょう。そして、自分や家族が感染したらどうすればよいのか、準備しておくことも必要と思われます。

【新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口】  
茨城県庁専用電話：24時間対応(土日・祝祭日含む)  
TEL：029-301-3200 FAX：029-301-6341

ハンカチとゴムで作る手作りマスクです。ゴムの代わりにストッキングの輪切りでもOK! 災害時にも役立つかも。



### ハンカチマスクの作り方



# 会派代表質問

会派代表質問とは、3人以上の会派の代表が、3月議会で新年度の市長の所信表明に対し、政策的な観点から行う質問です。

つくば・市民ネットワークは、市民主体のまちづくりを進めるために「市民参加と情報公開」を基本軸とした市政運営の実現をめざしています。五十嵐市政となり3年が経ちましたが、この基本軸は格段に進んだと評価しています。

例えば、「市民参加推進に関する指針」や「附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例」が策定され、市民公募の枠が広がったり、会議の原則公開が条例化されたりしました。また、「つくば市公文書等管理指針」も定められました。適正な運用を期待しているところです。

さて、今年の会派代表質問は初めて小森谷が担当しました。主な項目は以下の通りです。

- ①教育大綱の理念を題材にし、教職員と保護者・地域住民も交えて「私たちの学校をどうしていくか」を話し合う「スクールミーティング」を提案。
- ②(仮)みどりの南小学校予定地の環境について不安の声が寄せられているので、適切に調査をし、用地の見直しを含めた慎重な検討を要望。
- ③市民活動推進のため、つくばセンタービルのリニューアルに際し、市民活動センターの機能充実と併せて、市民が自由に憩えるフリースペースの設置を要望。また、NPOの認証手続きがつくば市でできるように県から権限移譲をするよう要望。

- ④高齢者の暮らしを地域で支えるための生活支援体制整備事業について、場所の確保や経済的な支援など、つくばオリジナルの取り組みを要望。
- ⑤不登校支援のため新たな拠点を増やすことについて、潜在的なニーズが高いので引き続きの取り組みを要望。
- ⑥児童クラブは、児童数が急増している大規模校で早くも2020年度からスペースが不足する。空き教室だけでなく、図書室や体育館・グラウンドも視野に学校施設の開放など柔軟に対応するよう要望。
- ⑦公園の整備について、どこへ行っても同じような公園ばかりなので、以前より市民ネットが要望しているプレイパークを始め、バスケットやサッカーのゴールを置いたり、スケートボードパークを設置するなど工夫をするよう検討を要望。
- ⑧教員の働き方改革について、モノより「人」に予算をつけるよう要望。
- ⑨スマートシティモデル事業として、顔認証技術や自動運転技術などのサポートをしているが、個人情報流出など市民にかかるリスクを増大させてはならない。慎重に進めて欲しい、と要望。

以上の内容を含め、13項目について要望・提案をしました。会派代表質問では2回しか質問できず、それに対する答弁を2回もらう、という形式なので議論が深まらない部分があります。今後はテーマを絞って一般質問するなど、引き続き取り組んでいきます。



つくば市議会議員  
総務委員会副委員長  
**小森谷 さやか**



# つくば市の温暖化対策、これまでとこれから



つくば市議会議員  
都市建設委員会副委員長  
**宇野 信子**  
一般質問項目

- ・気候変動対策について
- ・科学技術都市推進における倫理的問題の対応

地球温暖化による気候変動は、深刻な水害の頻発や大規模な山火事など、世界各地で実感されています。これらは市民生活の安全を揺るがし、食糧危機にも繋がるため、喫緊の対策が必要です。そこでつくば市の地球温暖化対策について、これまでの経過、現在の課題、今後の取り組みを質問しました。

## これまでの取り組みで見えてきた課題は……

つくば市では、2002年に「つくば市地域新エネルギービジョン」を策定。つくば市に合った新エネルギーについて調査し、太陽光発電などの導入を進めましたが、「回らない風車」問題では、国庫補助をあてにして調査不十分なまま着手した風力発電事業が失敗し、大きな教訓となりました。

2007年には「つくば3Eフォーラム」が組織され、大学、研究機関と市が連携して低炭素エネルギー社会の実現をめざし、環境、エネルギー、経済の調和を図り2030年までに二酸化炭素排出量の50%削減を目標に掲げました。藻類バイオマスの研究などが注目されましたが、実用化に向けた具体的な連携強化が課題になっています。

2013年には「つくば市環境モデル都市行動計画」を策定。低炭素建物街区ガイドラインや環境スタイルサポーターズの取り組みなどを進めましたが、施策が多岐にわたっていたため、いずれも成果が出るところまでやりきれていないことが課題です。

## 2020年、新たな地球温暖化対策実行計画を策定！

今回の実行計画では、これまでの経験を踏まえ、地域特性に合った施策を、市民が取り組みやすいように、環境面だけでなく経済、社会面のメリットを強調して広く普及させようとしているとのことです。

そこで具体的な施策として、公共施設に再生可能エネルギー導入をもっと積極的に進めて欲しいと提案したところ、「施設の利用状況や整備方針、エネルギーの使用状況を調査研究の上、設置を進める」と答弁。また、すぐ取り組めることとして、プラスチックごみ削減のため市が率先してペットボトルの使用を減らすよう提案し、「市の会議等でのペットボトル飲料の提供を控え、マイボトルの利用を促進する」等の答弁を得ました。

最後に、世界の都市と連携して温暖化対策に取り組むため、自治体として気候非常事態宣言を行うよう提案しました。今回の計画が絵に描いた餅にならないよう、市民として出来ることを実践しつつ、行政の実施が滞らないよう、進捗をチェックしていきましょう。



## 2020年3月議会議決結果

※「女子差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書を国に提出することを求める請願」が採択され、国へ意見書が提出されました。

議決の結果 (○：賛成、×：反対)		会派名	つくば・市民ネットワーク	自民つくばクラブ ・新しい風	つくば市政クラブ	日本共産党	公明党	つくば政清会	山中八策の会	新社会党	創生クラブはがくれ
議案	令和元年度つくば市一般会計補正予算(第5号)に対する修正案	否決	○	×	×	○	×	×	×	×	×
意見書案	女子差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	可決	○	×	○	○	○	○	退席	○	○
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表(議員数28 議長:神谷)			*皆川、北口 宇野、小森谷	*小久保、久保谷 ヘイズ、五頭 神谷、黒田、長塚	*塚本、鈴木、須藤 柳沢、高野進、大久保	*滝口 橋本 山中	*小野 浜中 山本	*木村修 木村清	*塩田	*金子	*高野文

## 地域の居場所づくりに空き家の活用を!



つくば市議会議員  
市民経済委員会副委員長

### 皆川ゆきえ

#### 一般質問項目

- ・避難行動要支援者の把握と支援について
- ・空き家を活用した地域の居場所づくり支援について

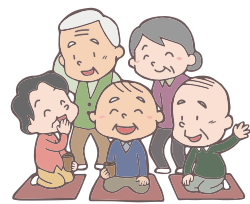
**保健福祉部長:** つくば市ではこども食堂を「みんなの食堂」と呼んでおり、対象者を限定することなく、子どもからお年寄りまで、誰でも行くことができる地域の交流スペースとしてのみんなの居場所を目指しています。現在「みんなの食堂」は市内に6ヶ所あり、主に交流センターなどの公共施設や民間施設で実施されています。食材や消耗品費、保険料などに使用できる補助金を月1回開催で年間5万円、月2回開催で年間10万円交付しています。

住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、市内でも地域の居場所づくりの気運は住民のみなさんに広がっており、市民ネット高齢福祉部会でも市内外の高齢者サロンの視察や、行政への政策提案を行っています。3月議会では、居場所づくりに空き家を活用することについて質問しました。

**皆川:** 今年度スタートした「高齢者憩いの広場」とはどのような事業か?

**保健福祉部長:** 介護予防や孤立化防止を目的として、高齢者を中心とした全ての人が行うことができる地域憩いの場確保を目的とし、週1回以上活動を行う団体に補助金を交付しています。補助金額は活動回数に応じて5~30万円とし、初年度の活動準備費補助金も交付しています。主な活動場所は地区の集会所で、現在6ヶ所の高齢者憩いの広場があります。

**皆川:** 「みんなの食堂」の事業内容は?



つくば市の高齢化率と人数 2019/10/1現在

地区	高齢化率(65歳以上)	65歳以上の人数	75歳以上の人数
筑波	35.8%	6,370人	3,240人
大穂	21.6%	4,226人	2,144人
豊里	24.6%	4,005人	1,953人
谷田部東	11.0%	7,048人	3,077人
谷田部西	17.6%	7,635人	3,458人
桜	14.3%	7,432人	3,369人
荃崎	37.4%	8,796人	4,029人
市全体	19.2%	45,512人	21,320人

**皆川:** 市内に1,400軒あるといわれる空き家を、地域の居場所づくりに活用することについての考えは?

**建設部長:** 空き家対策としても大変有効な取り組みであり、地域の活性化につながるものと考えています。補助事業については地域や運営法人等のニーズを踏まえながら、他の自治体の先進事例を調査研究していきます。

今回、前向きな答弁が得られました。高齢の方や子どもが自分で歩いていける距離に居場所があることがとても重要です。さらに、いつでも誰かがいるのが理想的です。そのような居場所が広がっていくよう、今後も提案していきます。

## 大規模ソーラーシェアリングに異議あり!

農地で営農と発電事業を同時に行うことをソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)といいます。2013年に農水省が一時的農地転用の事業として取扱を明確化し、各市町村の農地管理をする農業委員会の認可を受け全国で設置されてきました。小規模農家にとって安定的な売電収入は、異常気象による農作物被害が多い昨今、営農を補完する点で大いに期待されています。

### 全国でソーラーシェアリングの課題が噴出

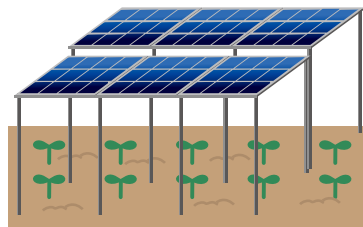
一方、2019年に発表された「ソーラーシェアリング全国調査」では、売電を主な目的とする事例が各地で問題になっており、「営農継続が困難なばかりか、20年に及ぶ事業なので事業責任の引継ぎが課題」や「パネル撤去費用の確保の義務化が必要」など全国の農業委員会から多々課題が寄せられています。また、大半が農地のままの固定資産税が適用されるので、大規模になればなるほど営農のいかにかわらず、税金は少なく売電で稼ぐ「売電ありきの事業」になりがちな点も危惧されます。つくば市にある45haのケースも、約13万枚のソーラーパネルが張り巡らされており、他人ごとではないと、つくば

市の現状と今後の対応について質問しました。

答弁では、決して発電ありきの事業とならないよう実態把握が重要とのことでした。しかし、設備撤去の資力については申請時に確認しているのみで、現時点では義務付けしていないとのこと。今後、調査研究し義務付けるよう要望しました。

### 国内最大規模のソーラーシェアリングを認可してしまった自治体として

また、つくば市の45haのケースの場合、栽培計画が再三変更され、収量が確保できていません。営農持続とはいい難い状況です。本来、地域の農地や農業を守るべき農業委員会は、認可の条件が守られなければ撤去も指導できる立場にあるのですが、現状を容認しています。



耕作放棄地が年々増えるつくば市。農業委員会だけに課題を押し付けている場合ではありません。今後、新たな場所で大規模な申請が起きることも視野に入れ、早急に現状を国へ報告し、全国調査や改善策構築を働き掛けるよう強く要望しました。



つくば市議会議員  
議会運営委員会委員長  
文教福祉委員

### 北口ひとみ

#### 一般質問項目

- ・ソーラーシェアリング
- ・悪天候時の登下校
- ・国民健康保険の現状と課題

## GIGAスクール構想推進に大きな疑問

GIGAスクール構想とは、小中学生1人に1台のタブレット端末と高速通信網を整備する国の構想。今議会に、まず高速通信網と学校用サーバ整備費約10億円の補正予算が提案された。しかし、市民ネットでは以下の問題点や疑問があり、GIGAスクール関連費用を削除する修正案を提出した。

- ・毎年、つくば市議会では少人数学級実現のための予算確保を国に求める意見書を全会一致で可決している。少人数学級を進めることが先決ではないか?
- ・昨年12月に国がこの予算を閣議決定し、各自治体へ通知。つくば市では10億円を超す大規模事業を、わずか3ヶ月で自治体に迫る、国の進め方に問題。
- ・3月議案提示後、国補助金が半額程度になることが判明し、7.2億円の事業

に縮小。約3億円のサーバ関連費用は次年度以後に見送り。このサーバ関連費用、及び、端末費用やソフトウェア費用について、次年度以降の費用が提示されていない。

- ・一人一台端末を活用した具体的な授業内容やその効果が示されていない。
- ・発達段階である子どもへの影響は? 特に低学年には体験を重視した学びがICTより重要。

つくば市は地方交付税不交付団体であるため、この事業での国の補助は少ない。よって補助金を当てにして慌てて進めるのではなく、ICTを活用した授業の内容、適切な学年に適切な台数の計画を定め、事業を進めることが税金の適切な使い方だと考える。(修正案は否決されました。詳しくは議決結果参照→)





### 主な活動報告

- 1/13 原発県民投票説明会参加
- 1/14, 2/19 もうちよい住みよいつくばの会参加
- 1/16 都市建設委員会視察(市内)
- 1/18 公有地利活用説明会参加
- 1/19 講演会「有機野菜を食べて体内の農薬を減らせるか?~ネオニコチノイドの曝露実態の解明とその改善に向けた取り組み」参加
- 1/20~21 道路・交通体系及びTX沿線整備調査特別委員会視察(蓮田・山梨)
- 1/22 スポーツ対策特別委員会視察
- 1/24 全員協議会
- 1/24, 3/16 中心市街地まちづくり調査特別委員会
- 1/25 「今後の特別支援学校の適正配置のあり方」学習会参加
- 1/31 「東海第二原発から30kmを超えた地域でも住民説明会の開催を!」の署名提出(市長へ)
- 2/ 1 ごみ減量のためのワークショップ参加
- 2/ 2, 29 財政白書づくりの会
- 2/ 5 HPVワクチン被害者連絡会集会(参議院議員会館)参加
- 2/ 8 イエナプラン教育に関する講演(リヒテルズ直子さん)参加
- 2/ 9, 3/16 高エネ研南側未利用地に関する調査特別委員会
- 2/13, 15 議員と話そう会開催
- 2/14~3/19 3月定例会市議会
- 2/16 原発県民投票つくば受任者の集い参加
- 2/22 第16回つくば市民ネットワーク総会
- 3/23 つくば市民ネットワーク議会通信発行

※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会等も多数傍聴しています。

## 「香害」を“自分ごと”に ~アンケート結果より

前号(61号)で特集した「香害」についてご意見を募集したところ、ウェブ含めて79名の方から回答をいただきました。68名の方が、困っている、誰にも言えずに苦しんでいるという訴えです。原因と思われる製品は、洗濯用製品が半数近くを占め、具体的には

- ★ スーパーなどの店員さんの(制)服のにおいがきつい
- ★ 共用の給食当番の白衣についた洗剤のにおいが辛い
- ★ 隣家の洗濯物のにおいで年中窓が開けられない

といった内容です。症状としては、頭痛、吐き気、めまい、目や鼻の粘膜の痛みや充血などです。これらの健康被害は化学物質過敏症の一種であり、特別な人だけの病気ではなく、だれもが発症する可能性があります。

つくば市では、右のポスターが学校等の公共施設で掲示されるなど周知の動きが進んでいます。しかし、化学物質に対する反応に個人差があり理解してもらうのが難しい、友人・知人に指摘できない、という声も届いています。

化学物質過敏症は、一度発症するとさまざまな物質に反応するようになり、日常生活が困難になります。社会全体で化学物質の使用をなるべく減らしていくことが必要ではないでしょうか。市民ネットでは、「香害」をはじめ化学物質過敏症を広く知ってもらう活動を進めています。



### 傍聴記

ぼくが議会傍聴に行った率直な感想は、「難しい」ということです。ぼくが小学生だという点を差し引いても初めてなのでごく難しかったです。でも、GIGAスクールに関する議論は、自分にも関係があったので、理解出来ました。新しいことにお金をくれるからといっても、じっくり考えることが大切だと思います。

議会は市の方針を決めます。住民は議員を選び、選んだ議員が何をしているのか知るために傍聴があるのだと、ぼくは思います。(小6 A.Y)



### インターン体験記

つくば市民ネットワークでは、若年投票率の向上を目標に活動するNPO法人ドットジェイピーの、学生を対象とした議員インターンシッププログラムに協力しています。これは、議員と行動を共にする事により、その仕事への思いや、政治と社会のつながりを知る体験学習プログラムです。今回参加した学生に、感想を聞きました。

2、3月の2か月間、インターンをさせていただきました。私は、このインターンを通してたくさんのお話を学びました。

まずは、議員の仕事です。インターン前、私は議員の方がどのように活動しているのか知りませんでした。しかし、議会や議案の検討などたくさんのお話を聞いて、議員としての仕事の大変さを感じることができました。また、将来の夢へのヒントをいただきました。私は、将来、都市計画に関する仕事に就きたいと思っています。このインターンで、つくば市中心市街地の都市計画に関する資料・活動に多く参加でき、自分でも一つのプランを考えることができました。将来の夢への具体的なイメージを掴む事ができました。

このインターンは、私にとって非常に貴重な経験となりました。

(T.N)

### つくば市高齢者いきいの広場

高齢福祉部会

## 「桜の園」を訪ねて

市民ネットの高齢福祉部会では、居場所づくりの話し合いを進めています。桜ニュータウンに、空き店舗を利用した高齢者のサロンがあると聞き、訪問しました。

シルバークラブの「居場所が欲しい」という要望と高齢化率の高いこの団地に「遠隔医療」を広めようという方たちの思いが合わさって開設された「桜の園」。卓球もできる広々とした明るい部屋で、趣味の講座などが開かれています。毎月「健康相談」があるのは心強いことです。

長年にわたって団地内の助け合いの仕組みを作ってきた方々のネットワークがあってこそできた居場所なのだと思います。

